

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	feel大久保		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 31日		～ 2024年 11月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	89	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年 10月 31日		～ 2024年 11月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮ができている。	メモやLINE、メール等、後で見ても分かる形にする、お子さまとお話しするときは、文字や絵で表す、端的に伝える、大事な話を先にする、時間を空けて何回かお伝えするなど一人ひとりの特性に合わせて対応しています。	今後も継続して行いつつ、一人ひとりの特性を踏まえつつ、お子さまのその時の状況にあった柔軟な対応ができるようスタッフで連携を図っていききたいと思います。また、保護者の方にも、正しい情報が共有できますよう、LINEやメールスケジュール帳でのやり取りを丁寧に行ってたいと思っております。
2	子どもやご家族の方に事業所で相談できる場があることを伝え、相談や申し入れに対し迅速かつ適切に対応できている。	保護者様には家族支援などご利用できることを、契約時やモニタリング時、また必要な際にその都度お伝えしております。また、職員一同、お子さまや保護者の皆様に気軽に相談していただけるような関係作りを心掛けております。	今後も継続して行いつつ、もっと気軽にお子さまや保護者様が生活の中感じられている、気になること、不安なことなどを相談していただける場所となりますよう、お伝えしていきます。また、送迎時に事業所での様子や、よかったところなどをお話ししたり、スケジュール帳に書いたりして、保護者の方にお伝えしていきます。
3	事業所の職員から共感的に支援をされている。	職員一同、お子さまとの信頼関係を大切にしています。お子さまの言葉や行動に反応せず、なぜそういう言葉や行動を選んだのかに目を向けるようにし、指示ではなく、一緒に考え、話し合うことで、子ども自身が選択し、自己決定ができるようにしています。	今後も継続して行っていきます。また、スタッフのスキル向上のため、内部研修や外部研修に参加することで、お子さまの支援につなげていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所からの速やかな連絡や状況説明に不十分さが感じられる。	いつもと違う様子、遊びの中で泣いてしまった、ケガをしたなどの場合は、必ずお伝えしておりますが、お友だちとの体を使った遊びでの出来事は細かくお伝えできていなかったと考えられる。	今後も事故等が発生した際には、状況に応じて、お電話、玄関、LINE等でお伝えさせていただきつつ、体を使った遊びをしたり、運動をしたりした時には、前もってその時のご様子などをお伝えし、お家での様子で何かあったら、教えていただけるようにお声かけさせていただきます。また、小さい怪我に対しても玄関等でお伝えさせていただきます。
2	子どもの活動等のスペースに不十分さが感じられる。	一軒家のため、部屋の大きさに限りがあると考えられる。	その日の子どもたちの様子やプログラムに合わせて、パーテーションや引き戸を使って、過ごしやすい場所作りや、机を移動させ、広いスペースを確保するなどしていきます。また、使った玩具を片づけることを意識し活動スペースの確保につなげていきたいと思っています。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会に不十分さが感じられる。	地域交流を目的とした事業所主催の秋祭りを開催したが、事業所からの距離が離れている等、参加しにくい部分もあったことが考えられる。	前年度開催した秋祭りにご参加いただきやすくなるよう、ご案内を早めに行ったり、行きたいとおもっていただけるような催しを考えたりしていきたいと思っています。また、coopで開かれる笑くぼカフェや和坂マルシェといった地域行事に参加していることをその都度ご案内していこうと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		connect 大久保		公表日 2025年1月28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%	0%	必要に応じて療育で使用している教材やプリントなど持参したり、写真等で共有させていただいています。	継続していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	66.70%	33.30%	利用希望される方に必要な支援ができるよう、訪問支援が行えるスタッフの育成を考えていきます。	訪問支援に携わることができる職員を増やすことができるよう、内部研修を継続して実施していきます。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	ミーティングで訪問に行っていないスタッフにも情報共有を行い、目標設定や今後の支援について話し合いを行っています。	継続していきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	半年に1回以上の面談や、必要に応じて面談を行い保護者の方と情報共有や今後の方向性について話し合いを行っております。また、毎回の訪問支援後、面談、お電話、LINE等、保護者の方のご都合に合わせて、振り返りを行い、今後の意向の聞き取りや、次回の訪問支援のご希望をお聞きするようにしています。	継続していきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングで訪問先での様子を共有し、今後の支援の方向性や取り組みについて意見交換を行っています。	継続していきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	あかし療育図鑑の調査を受け入れ、第三者による外部評価を行っています。学校等の訪問支援においては、教育委員会が仲介に入るため必要に応じて連絡相談を実施しています。他事業所間で研修や、情報共有や情報交換をしながら、改善等をもとに業務改善を図っております。	継続していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	内部研修の実施や外部研修を受講することで、訪問支援における職員の専門性の向上を図っております。	継続していきます。
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	WISC-V 知能検査やKABC-II 心理検査、行動観察、保護者の方からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、お子さまのニーズや課題を分析し支援計画を作成しています。	継続していきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	学校での様子をその都度ミーティングで共有し、お子さまの特性に対する関わり方や支援方法等を日頃から検討、共有しております。また、支援計画の会議を行い、お子さまに必要なと思われる支援を、計画に取り入れ、作成しております。	継続していきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	・訪問先施設の負担にならないように留意しながら訪問支援開始前に事前会議を開催し、学校での様子を共有できるようにしています。 ・訪問支援後に毎回振り返りの時間を設けることで普段の様子や難しいと感じる点を伺い、支援計画に反映するようにしています。	継続していきます。

適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援に関わるスタッフで支援計画について共有し、支援員の意見を反映させています。訪問支援前後に毎回支援計画に立ち回りながら行っています。	継続してきます。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	S-M社会能力検査等の心理検査や日頃のお子さまの様子の観察、保護者からの情報などを総合した上で、お子さまの状況についてアセスメントを行っています。	継続してきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	3年毎に改訂されるガイドラインを事業所全体で変更点を確認、共有しています。	継続してきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	ミーティングにて毎回訪問支援担当者から内容について情報共有をすることで、支援計画に沿った支援が行われているか確認を行っています。	継続してきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援開始前には訪問に入る際の留意点や確認を行い、訪問支援を行った後はミーティングで共有を行い、連携できるようにしている。	継続してきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	訪問支援終了後は職員間でミーティングを行い、訪問時の様子やお子さまの課題を共有したり、個別療育の教材の検討を行ったりしています。	継続してきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	訪問支援開始前に、支援方法について相談をしたり、提案をする際には訪問先施設での取り組みなどを確認して承諾を得たりしたのち、支援をするようにしています。	引き続き訪問先施設との関係性作りも大切にしながら、今後も継続してきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%	学校での行動や様子、クラスの状況や先生の声かけなどを記録し、どういった行動や環境がお子さまにとって良い影響を与えているかを検討することに役立てています。	継続してきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	訪問後にその都度保護者へ報告を行い、今後の支援方法について相談をしています。また、併せて訪問先にも様子を伺い、お子さまにとっての利益になるように計画の見直しを適宜行っています。	継続してきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	訪問支援担当者や個別療育担当者が毎回情報共有を行い療育でのお子さまの様子を認識し、会議等で共有できるようにしています。	継続してきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保護者からの相談があり、関係機関からの了承が取れば訪問支援以外に関係機関連携として、ご本人のご様子や療育の内容について情報共有を行うなどの支援を行っています。	継続してきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保護者の方に同意を得たうえで、必要であれば、ご本人のこれまでのご様子や療育の内容について情報共有を行っています。	継続してきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	事業所内での研修は勤務時間内に全ての職員が受講できるよう日程調整を行っています。また、外部研修に積極的に参加できるよう、職員間で情報共有を行い、勤務時間内に受けられるようにしたり、費用の負担を法人で請け負ったりしています。	継続してきます。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	法人内で担当を決め、持ち回りで参加を行い、内容について情報共有を行っています。	継続してきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	スケジュール帳や玄関先、お電話、LINE、カウンセリングなどを通して情報共有を行っています。	継続してきます。

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	2024年度は研修会と保護者交流会を、6月「子どもを理解する力」・7月「就学相談の流れ」・9月「ゲーム依存について知る」・11月「ODの理解を深める」を開催しました。研修を通して、お子さまの特性を知り、活かす方法や将来を考える機会につなげ、学校などの関係機関との話し合いに役立つようにしています。	継続していきます。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	最初のご契約時に、支援計画の内容、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意をいただいております。	継続していきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	事前会議を実施し、訪問支援の趣旨や目的について共通理解を持っていただけるようにしております。途中で支援方法に変更があった場合は訪問先の管理職の先生等と相談を行うようにしています。	継続していきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	事前に子どもや保護者の目標・願いについて聞き取る機会を設け、支援計画を作成しております。	継続していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援計画の書類を提示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になること等について保護者の方と情報共有したり、対応についてのアドバイスをさせていただいております。	継続していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・随時、ご相談に応じたり、訪問での様子を伝えたり家庭での困りごとを聞いたりして具体的な工夫策を提案するようにしています。 ・希望者にはカウンセリングを実施しております。	継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ペアレント・トレーニングの研修会後に「保護者交流会」を開催し、保護者の方同士でお話していただけるような機会を設けております。平日だけでなく土曜日にも開催することで出席していただきやすくなり、ご検討いただけるように早めにご案内を配布したりしています。また、2024年度より気軽にご参加できますよう「保護者交流会」のみの開催をいたしました。交流会では普段のお子さまとの関わりで気になることや上手といった対応等についてお話していただいております。	継続していきます。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・契約時に苦情相談の担当者や事業所以外での窓口についても説明しています。 ・半期に一度子育てに関する負担度を聞き取り、必要があれば相談やカウンセリングの案内をしています。 ・普段から気になったことを相談しやすいような関係作りに努めて参りたいと思っています。	継続していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	活動内容は第一土曜日にブログやインスタグラムにアップしてお知らせしています。行事やアンケートがあるときにはお便りを配布したりLINE等でお知らせの配信をしたりしています。	継続していきます。

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・契約時の個人情報についてのアンケートをもとに、玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報は鍵付きの書庫に片付けたりしています。またご利用の方の個人情報は鍵がかかる場所に保管し、閉所後は施錠しています。 ・スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守するよう説明しています。	継続していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・お子さまや保護者の方とお話をする時には、口頭だけではなく、メモやLINE、メール等、後で見ても分かる形にしています。正確な情報共有を行えるよう、お電話や直接お話をさせていただいた内容を改めてメモやメール等でお伝えすることを心掛けています。 ・お子さまの特性にあわせて、文字を紙に書いたり、絵で表したり、大事な話を先にしたり、複数回に分けてお伝えしたりしています。 ・必要に応じて、LINEやメール、お電話のお問い合わせを受け付けています。	継続していきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	相談があれば実際の療育教材を提示して説明したり、希望があれば研修などを実施したりして相談ができる体制を整えています。	継続していきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	訪問先の都合に合わせて振り返りも合わせて行える日で日程調整をいただき、毎回会議を行えるようにしています。	継続していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	実施後に必ず、保護者のご希望に合わせて面談やメール、LINE、電話等で情報共有を行っています。	継続していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	訪問先には名前などの個人情報が記載されたものを持ち出さないことを従業員で共有し、忘れ物などがないように留意したりしています。	継続していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	訪問先の先生のお話を聞きし、困りごとや気になることを共有し、寄り添いながら、実行可能な支援方法を提案できるようにしています。	継続していきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	年単位で計画を作成して、訓練を行うことでマニュアルを周知するとともに対応法を訓練しています。	継続していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	重要事項について訪問担当職員に周知をしたり、訪問先に配布したりすることで意識できるようにしています。	継続していきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ご利用されるお子さまが安全に過ごせるように、環境面、玩具の使用、関わり方についてその都度ミーティング等で対応を協議し、ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しています。 また、他事業所にも個人情報を伏せて情報共有を行い、再発防止に努めています。	継続していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	新人スタッフ、継続スタッフそれぞれに虐待防止の研修を行ったり、毎日のミーティングの中でのお子さまへの対応について話し合ったりしています。	継続していきます。

	46	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。</p>	100%	0%	<p>身体拘束を行う場合は保護者の方へ書面を添えて十分な説明を行い、了承を得た場合にのみ、ご署名をいただいております。また実際に身体拘束を行った際には詳細を記録に残しています。</p> <p>半年に一度、職員間で話し合いをし、見直しを行っています。あわせて保護者の方へ報告させていただいています。</p>	<p>継続していきます。</p>
--	----	---	------	----	--	------------------